

【日本国際文化学会 第23回全国大会自由論題応募のチェックリスト】

- 自由論題の発表できる演題は一人1演題である(共通論題と自由論題で2演題は構わない)
- 自由論題は原則として個人研究発表だが、内容により複数の発表者による発表でも可能だが、いずれも発表時間は質疑応答の時間が十分にとれるように20分以内であることを理解している(質疑応答を含めて30分)
- 発表言語及び応募書類は日本語あるいは英語である(それ以外の言語で発表するときには発表時間内で日本語通訳を用意すること)
- 他学会で既に発表した報告ではない
- A4サイズ横書き1ページで作成している
- 本文の文字ポイント10.5pt、40字×30行の書式で作成している
- 発表タイトル、氏名、現職を明記している
- キーワード(3~5語)を記載している
- 要旨本文は40字×25行以内で作成している
- 最後に連絡先電話とメールアドレスを記載している
- 日本国際文化学会の会員であり、2023年度の年会費を納入している(応募時に入会してもよい)
- 全国大会は2日間の開催だが、発表日時は原則として選ぶことはできないことを理解している。また、発表を取りやめることはできないことも理解している。

※その他の記載もありますので応募要項を熟読の上、応募される際には3月20日までに全国大会実行委員会(intercultural2024@gmail.com)へ応募されますようお願いいたします。